

# 平成24年度 第2回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成24年10月23日(火) 市役所14階 小会議室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 池田 裕明 齊藤 久美子 廣谷 行敏(委員長職務代理者) 山西 良子 <span style="float: right;">五十音順</span>		
審議対象期間	平成24年4月1日～平成24年6月30日		
抽出案件(総件数)	建設総務 4件 水道局 1件	議 事 1 入札及び契約手続の実績状況等の報告 2 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 4件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
公募型指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
随意契約	建設総務 1件 水道局 1件		
委員からの意見・ 質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		



<p>【事後審査型一般競争入札（持参方式）】</p> <p>③ 広瀬連絡所及び高松連絡所耐震補強工事設計業務委託 有功支所及び宮連絡所耐震補強工事設計業務委託</p>	<p>の工種が交錯することとなるため、各工種とも一度に作業できず綿密な工程管理が必要とされます。効率が低い分経費がかさみ、落札率も高い結果になったと考えられます。</p> <p>委員：公告にある2の競争参加資格は同じですか。</p> <p>事務局（建設総務課）：はい、そうです。</p> <p>委員：主任技術者が複数の会社に雇用されていることがあるのですか。</p> <p>事務局（建設総務課）：建設業許可を受けられている場合、複数の会社に雇用されることはできません。また、直接的雇用に関しては、入札日以前に1か月以上を条件としています。</p> <p>委員：はい、わかりました。</p> <p>事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明</p> <p>当該両業務委託について、予定価格が安価であり、人件費にかかるウエイトが大きい業務です。広瀬連絡所及び高松連絡所耐震補強工事設計業務委託は、補強鉄骨ブレース8箇所、鉄骨柱追加2箇所、基礎補強1箇所それに伴う内装設備関係の設計です。広瀬連絡所及び高松連絡所間については、近距離にあり、移動時間のロスが少なくすみ、経費等が縮減できたものと考えられます。</p> <p>次に、有功支所及び宮連絡所耐震補強工事設計業務委託は、鉄筋コンクリート壁増設2箇所それに伴う内装設備関係の設計です。有功支所及び宮連絡所間については、広瀬連絡所及び高松連絡所間より遠距離にあり、経費等がかかるため、落札率が高くなったと考えられます。</p> <p>委員：案件を比較すると、予定価格、延べ床面</p>
---	---

<p>[事後審査型一般競争入札（持参方式）]</p> <p>④ 地籍調査 FⅡ－GH 業務委託（1108）  地籍調査 FⅡ－GH 業務委託（1101）  地籍調査 FⅡ－GH 業務委託（1105）・  （1106）  地籍調査 FⅡ－GH 業務委託（1102）</p>	<p>積にも差がありますがどうですか。  事務局（建設総務課）：補強の内容が異なるので  予定価格に差があります。  委員：はい、わかりました。予定価格が低い方  は経費がかかるため、落札率が高いという  のも考えられますね。</p> <p>事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明  E工程、CDF・DF工程については、  予想計画で設計を行っているため材料費  （三角点、境界杭）等の調整が可能であり、  経費調整も企業努力で縮小できる部分が  考えられるが、FⅡ工程については、前工  程により収集した成果品をもとに確定さ  れた情報についてまとめる作業であり、必  要材料が固定的となるため、金額の調整が  困難であり、予定価格も安価なため経費が  縮減できる余地が少ないため、落札率が高  い結果になったと考えられます。  委員：抽出案件の入札参加者、入札金額につ  いては傾向性が見受けられるのではないで  すか。  事務局（建設総務課）：工程別で見ると、最終工  程では落札率が高いように思われます。  委員：はい、わかりました。落札率も低い案件  もあるようですので、競争性は働いている  ようですね。</p>
<p>（水道経理課分）  [事後審査型制限付き一般競争入札（持参方式）]</p> <p>⑤ 鉛製給水管取替修繕関連工事</p>	<p>事務局（水道局水道経理課）抽出事案の概要説明  工事内容は舗装工事です。この工事の落札  率が、他の配水管工事の案件と落札率が違  うのは、最低制限価格の算出方法のパターンが  数種類あり、舗装は市と同一の算出式で最低</p>

制限価格を設定していますが、配水管工事は別の算出式となっているため、予定価格の下限である75%に近い金額での設定となっております。よって、この工事も最低制限価格での落札率となっており、開札調書でもわかるように、競争性は十分発揮されていると考えています。

また、舗装工事としての金額については、この工事の1㎡当たりの単価と別の建設総務課での舗装工事の案件での単価とほぼ同じ額になっているので、金額的にも問題ないと考えております。

委員：はい、わかりました。